

## 1 実践研究主題

望ましい集団活動を通して、よりよい生活や人間関係を築く特別活動のあり方（2／3年次）  
～自主的・実践的な態度を育てる話し合い活動の充実を目指して～

## 2 主題設定の理由

### (1) 学習指導要領の改訂

課題

- ・生活体験の不足や人間関係の希薄化
- ・集団のために働く意欲の不足
- ・生活上の諸問題を話し合って解決する力の不足
- ・規範意識の低下
- ・望ましい集団活動を通じた社会性の育成が不十分



基本方針

- よりよい人間関係を築く力，社会に参画する態度や自治的能力の重視
- 自主的，自発的な活動の重視
- 体験活動や生活を改善する話し合い活動，多様な異年齢の子どもたちからなる集団による活動の重視



### 具体的事項

- 【学級活動】
- ① 合意形成をする話し合い活動や自分たちでルールを作って守る活動
  - ② よりよい学級生活の実現に取り組む意欲の育成
  - ③ 係活動，日常の清掃などの当番活動の計画的な指導（勤労重視）
  - ④ 小1プロブレムや中1ギャップに配慮した指導の重点化
- 【児童会活動】
- ① 異年齢の子どもたちからなる集団による自治的能力の育成
- 【クラブ活動】
- ① 楽しい学校生活やよりよい人間関係を築く力の育成
- 【学校行事】
- ① 集団への所属感や連帯意識，学校の仲間や地域との関わりの重視
  - ② 多様な人々との交流体験や文化的な体験の重視

### ※ 合意形成をする話し合い活動

互いの思いや願いを理解し合い，折り合いを付けながら，自分もよく他者もよい解決方法を見出す話し合い活動

### ※ 小1プロブレム

入学したばかりの1年生が集団行動がとれない，授業中に座ってられない，話を聞かないなどの状態が数ヶ月間継続する状態。

### ※ 中1ギャップ

小学生とは似つかない雰囲気になじめず，不登校や登校サボタージュをしたり，いじめが増える状態。

(2) 教育目標の具現化

<b>【学校の教育目標】</b>
心豊かでたくましく、自ら学び考える、知・徳・体の調和のとれた南の子を育成する。 (1) よく考え、すすんで勉強する子ども (2) 礼儀正しく、思いやりのある子ども (3) ねばり強く、健康でたくましい子ども
<b>【特別活動の目標】</b>
望ましい集団生活を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。
<b>【特別活動の重点目標と目標達成に向けて取り組むこと】</b>
望ましい集団生活を通して、学級・学年や全校への所属感や連帯感を深め、共によりよい生活を築こうとする自主的実践的な態度を育てるとともに、集団の中で自己を生かす能力を養う。 ・学級目標を具現化する話し合い活動の充実 ・異年齢による交流活動の充実 ・特別活動コーナーの設置

(3) 1年次の取組から

1年次は、児童の実態や教師の願いから、話し合いの前の計画委員会のもち方から話し合いでの意見のだし方・まとめ方、話し合い後の実践化まで、あらゆる場面での教師の支援や手立てが必要だと考え、「話し合いの仕方を身につけ深まりある話し合いをするための教師の支援のあり方」とテーマに研究を進めた。班別研修会や日々の授業実践を重ね、話し合いまでの手順や話し合いの方法が身についた。

2年次は、年間指導計画の見直しや「話す・聞く」言語能力の育成などにより、さらに話し合い活動を充実させたいと考え、本主題を設定した。

### 3 研究計画

(1) 研究副題

2年次	望ましい集団活動を通して、よりよい生活や人間関係を築く話し合い活動のあり方 ～自主的・実践的な態度を育てる話し合い活動の充実を目指して～
-----	---

(2) 研究の仮説

仮説1	学期ごとのめやすや学級づくりのテーマ等を明らかにした学級活動年間指導計画を作成し、年間を見通した話し合い活動の指導を工夫すれば、自主的・実践的な態度が育つであろう。
仮説2	他教科との関連を図りながら言語能力を育成するとともに、ソーシャルスキルトレーニング等によりよりよい人間関係を築けば、自主的・実践的な態度が育つであろう。

(3) 研究の進め方

- ① 児童の実態を踏まえた研究内容および方法を決めて、実践の重点事項を計画し実践していく。  
2年次である本年度は、研究の仮説を設定し、計画的・継続的な実践に努める。
- ② 日々の学習指導や授業研究を通じた実践研究を進める。授業の分析や記録方法を工夫し、児童の変容が分かるようにする。本年度は各自が研究テーマを設定し、個々の研究内容や研究方法に基づき実践を進める。年内2回の紙面での研究報告を行う。(中間・最終)
- ③ 各班会では、理論研究や実態調査、教材開発や指導法の研究、実践授業の記録などを計画的に進め、世話係を中心に年次ごとに研究のまとめを作成する。
- ④ 各学年部では、日々の学習活動や授業研究での児童の実態や変容を把握し、その成果や課題などをまとめる。

(4) 研究内容

① 「話し合い活動」の実践検証

各学級での日々の実践を重ね、以下のことについて検証を深める。

- 計画委員会のもち方
- 司会団の役割
- 意見のだし方やまとめ方
- 教師の支援のあり方
- 環境整備(学級・校舎内の特別活動コーナー)

② 年間指導計画の見直し

学期ごとのめやすや学級作りのテーマ等を明確にした学級活動年間指導計画を作成し、年間を見通した話し合い活動を検証する。

③ 他教科との関連

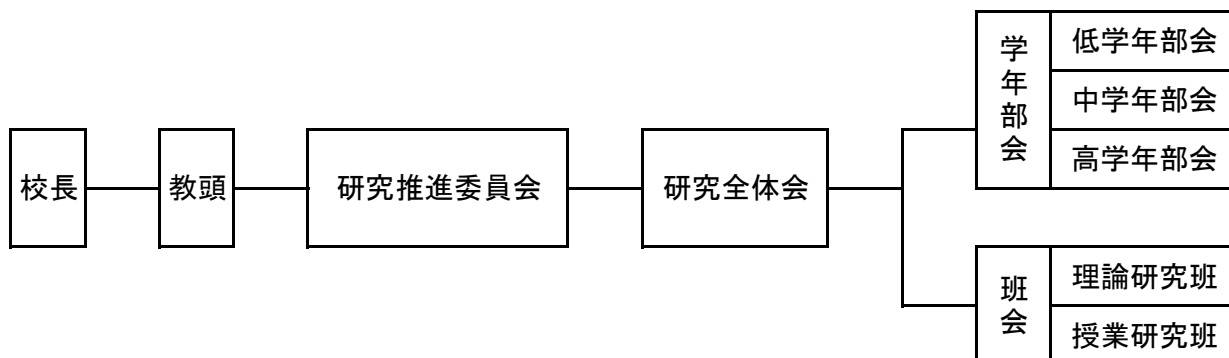
他教科との関連を図り、「読む・書く・話す・聞く」等の言語能力を育成する。

④ 人間関係づくり

温かい人間関係を築くエンカウターの研修

- 構成的グループエンカウター
- ソーシャルスキル・トレーニング

(5) 全体図



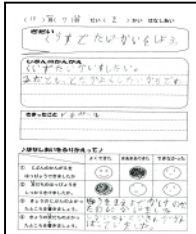



#### 4 研究の実際

##### (1) 研究の経過

月	日	形態	研修内容
4	15	研究推進委員会	1 職員研修の基本方針 2 職員研修の年間計画 3 市教研 (1) 研究主題 (2) 研究方法（組織作りと研究の進め方）
	25	全体会	1 研究主題 2 研究計画 3 研究組織
5	12	全体会	1 学級集団を生かした人間関係づくり (1) 児童の実態把握 (2) 学級集団の実態把握 (3) 実態に基づく目標地点の設定 2 演習 (1) SGEの流れ (2) 年間指導計画の作成
7	21	班別研修会	1 学年部会 (1) 個人研究テーマをもとにした各学級での実践報告 (2) 1学期の成果と課題, 2学期の重点実践事項 2 班会 (1) 理論研究班 ① 実態調査の計画と実施, 分析と考察 ② 学級活動年間指導計画の見直し ③ 学級づくり, 人間関係づくりに関すること (2) 授業研究班 ① 話し合い活動の実践検証 ② 他教科との関連に関すること ③ 教材や教具の開発, 環境整備
8	19	研究推進委員会	1 研究の状況と今後の方向性 2 班別の取組状況と今後の予定
10	17	全体会	1 指導案検討 3年2組「みんなが楽しめる『みんなで遊ぶ日』について話し合おう」
10	31	全体会	1 研修授業 3年3組「みんなが楽しめる『みんなで遊ぶ日』について話し合おう」 2 授業研究

(2) 各学年部の実践




① 低学年部(1年)の取組

研究の柱	実践内容	成果と課題
話し合い活動の充実	<p>○ 話し合いの進め方のひな型をもとに、話し合いの基本的な進め方を身につけさせる。個人ノートを活用し、自分の考えと決まったことを記入させる。</p>   <p>○ 話し合いで決まったことを掲示して、自分たちで話し合ったことが、日頃の生活に生かされているか確認させる。</p>	<p>○ 事前に説明することで、話し合いをスムーズに進行することができた。また、児童の発言は教師が記録し、黒板係に渡すことで、話し合いが中断しないように配慮した。</p> <p>○ 個人ノートは、担任の説明のもとで記入する時間を設定しないと難しい。</p> <p>○ 進行係はだれが発表したのかチェックして、できるだけ多くの児童が発言できるように配慮した。</p>
学級づくり・人間関係づくり	<p>○ 学級目標を常に意識させ、友だちのいいところを見つけることを心がけ、笑顔あふれる学級づくりに努める。</p> <p>○ 構成的グループエンカウンターを定期的実践する。</p> 	<p>○ 帰りの会で友だちのいいところを探す時間を設けたので、意識して探し、認め合えるようになってきた。</p> <p>○ バースデーサークルは1年生には難しくあまり効果が感じられなかった。実態にあうものを今後実践していきたい。</p>
言語活動の充実	<p>○ 発表する際は、です・ます等の丁寧な言葉や友だちに聞こえるくらい大きな声で話すことを繰り返し指導する。</p> <p>○ 他教科でもペア学習やグループ学習を積極的に取り入れ、お互いの意見や考えを交流する場面を設定する。</p> 	<p>○ まだまだ自信がないのか大きな声で発表できない子ども、発表に抵抗を感じている子どももいる。</p> <p>○ 自分の言葉で感想やまとめを書くことができるようになり、表現力が高まってきた。書いたことを発表する機会を多く持たせるようにしたい。</p>

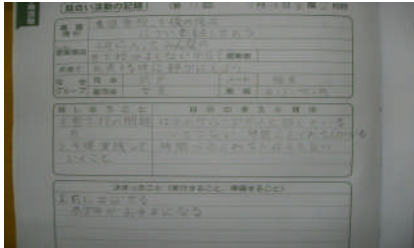



今後の取組

- 話し合い活動は、時間を設定しないと、事前に自分の考えを書いたり話し合いの準備をしたりすることがなかなかできない。少しずつ話し合い活動の流れを身につけさせていきたい。今後も友だちのよさを見つけさせたり、グループ活動を積極的に取り入れたりして、お互いに認め合える学級づくりを目指したい。
- 教師の支援を得ながら議題を見つけていくこと、話し合い活動ノートを積極的に活用していくこと、多くの子どもに司会団を経験させることを実践していきたい。また、実践化についてもふり返りの時間を設定するなど、手立てを講じていきたい。

② 中学年部(3年)の取組

研究の柱	実践内容	成果と課題
話し合い活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 計画委員会で話し合いのシミュレーションを行い、見通しを持って話し合いを進行できるように支援する。</li> <li>○ 話し合いの結果が日頃の生活に反映されるように、計画委員会は関係する係が担当する。</li> <li>○ 話し合いで決まったことを掲示して、朝の会や帰りの会で実践されているか確認させる。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 議題に対する意見を集約して、どのように進めていくか話し合うが、多くの場面で教師の支援を要する。</li> <li>○ 活動に意欲的に取り組み、学級経営に主体的に参加できている。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分たちからでた議題は、とても意欲的に事後活動に取り組んでいる。時間が経つと、その気持ちが薄れてくるため、声を掛け合うようにした。また、教師も一緒に活動して、全員で取り組む雰囲気をつくると、意欲の向上につながる。</li> </ul>
学級づくり・人間関係づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「チームワーク」の大切について、機会を捉えて話をしたり、実感できるようにしたりして、友だちのよさを認めたり協力することの大切さを感じられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運動会や市音楽会への参加、日々の清掃やグループ活動などで、子どもたちの心がひとつになり、協力して活動することの大切さが学級に広がりつつあるように思う。</li> </ul> 
言語活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語科の学習で「よく聞く」から「友だちに分かるように話す」に取り組み、話し合い活動にも生かせるようになった。</li> <li>○ ペアやグループでの話し合い活動を行い、自分の考えを友だちに伝える時間を多く取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の発表したいことを作文に書き、聞く人は分からないことを質問することを通して、自分の足りない所を補っていきけるようになった。</li> <li>○ 自分の考えを懸命に伝えるようになってきた。また、しっかり聞こうとする態度も見られるようになった。</li> </ul>
今後の取組		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 意欲的に話し合い活動に参加するようになり、話し合いの時間を楽しみにしている。学級をよりよくしたいと考える子どもも増えた。今後は、教師が機会に応じて企画委員会や実際の話し合いに入り、「深まりある話し合い」が実感できるようにしたい。</li> <li>○ 積極的に発表できるように、教師側からの個別の声かけや賞賛を行いたい。</li> </ul>		

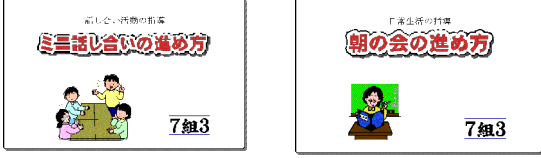
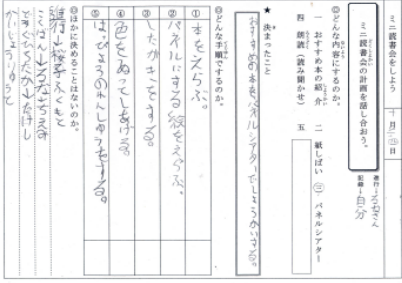
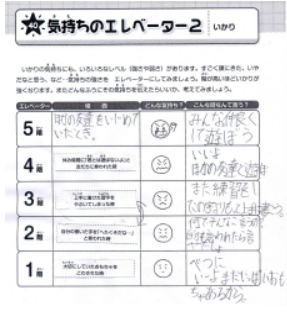
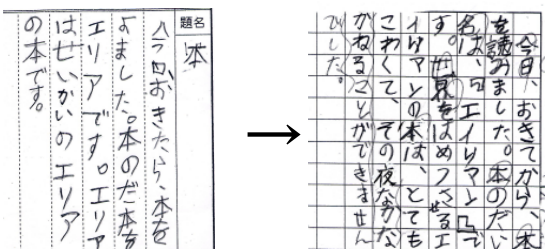
③ 高学年部(6年)の取組

研究の柱	実践内容	成果と課題
話し合い活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 議題提案カードを活用したり、学校生活を送る上で不都合なことを日頃から意識させたりして、子どもたちの願いや必要性に応じて話し合い活動を行う。</li> <li>○ 事前に特活ノートに記入させることにより、自分の考えをもって話し合いに参加できるようにする。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特活コーナーを設置し、議題や話し合いの柱を掲示して、子どもたちに早めの準備を促すことができた。</li> <li>○ 議題提案カードや議題ポストを作成し、議題の収集や設定に活用することができた。</li> <li>○ 議題に対して自分の考えを持って臨む子どもが増えた。しかし、自分の考えと友だちの意見を比べたり、違いを意識して反対意見や賛成意見を述べたりすることがまだ十分ではない。</li> </ul> 
学級づくり・人間関係づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一人一人のよさを認め合えるような場の設定や環境づくりをする。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>○ みんなで遊ぶ日を設定し、学級内のグループ化を軽減したり、お互いのコミュニケーションを図ったりして、学級の仲間を知る機会を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 友だちが発表するときは、作業を中断し発表する人に注目するよう声かけを行った。また、話し合い活動のときには、お互いの顔が見えるように座席の位置を工夫した。</li> <li>○ 学級の時間として、週1回の「みんなで遊ぶ日」を継続している。取り組みには差があるが、全員参加して同じ時間を共有することができている。</li> </ul>
言語活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話し合い活動の基礎となる「話す・聞く」活動や「書く」活動など、表現力の向上に努める。</li> <li>○ 他教科でも、グループでの話し合い活動を積極的に設定して、司会役を輪番制にしたり、お互いの意見を発表する場を設けたりして「話す・聞く」態度を育てる。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1分間スピーチではテーマを設定して、お互いのことを知るよい機会となった。</li> <li>○ 日記の内容がマンネリ化している。題材選びを指導したい。</li> <li>○ いろいろな学習の場面で、グループ活動を積極的に取り入れることができた。全体の場では、なかなか発表できない子どももグループ内では意見を言える子どもも多い。</li> </ul>

今後の取組

- 6年生後半ということを加味して、卒業へ向けて自分たちがすべきこと・できることを話し合い活動のテーマに据えていきたい。
- 特活ノートを効果的に活用して、自分たちの問題を自分たちで解決していけるような話し合い活動を目指したい。
- 特別活動コーナーを充実して実践化へ生かしたい。
- 担任と児童、児童相互が積極的に関わることができるように、グループ活動やレクリエーション活動をさらに工夫し、学級づくり・人間関係づくりに生かしたい。

④ 特別支援学級の取組

研究の柱	実践内容	成果と課題
話し合い活動の充実	<p>○ 自分の考えを友だちに伝えたり、友だちの意見を聞いたりして、小集団での話し合いに参加できるようにする。</p>  <p>○ 話し合いの流れや係の役割を提示・理解させ、話し合いに参加しようとする意欲を持たせる。</p>	<p>○ 学校生活の中で、みんなの前に立ち事を進める場面（朝の会、清掃の反省、ミニ話し合い等）を一人一人に体験させることで、抵抗が少しずつなくなってきた。</p> <p>○ 交流学級での話し合い活動では、自分の考えに自信が持てずに、どのような言葉で伝えればいいのか迷いがある。</p>
学級づくり・人間関係づくり	<p>○ 自分の考えや気持ちを気軽に話し合える明るい学級の雰囲気づくりに努める。</p> <p>○ 遊びの指導を通して、楽しさを共有し笑いの絶えない学級づくりに努める。</p> <p>○ 日頃の学校生活を通して、仲良く助け合う場を設定し、お互いのよさを見つけて認め合う子どもの関係づくりに努める。</p> 	<p>○ SSTシートを使って自分と友だちの考えや感じ方が違うことを知らせることで、お互いを理解しようとする意識や態度が見られるようになった。</p>  <p>○ 自他の考えの違いを理解しつつも、まだ自己中心的な言動が見られ、トラブルになることがある。</p>
他教科との関連	<p>○ 自分の考えだけを相手に押しつけるのではなく、相手のことを考えた言葉遣いができるようにする。</p> <p>○ 言葉調べや教師の説明から理解できる言葉を増やしていく。</p> <p>○ 日記指導や短文作り等を通して、主述の整った文が書けるようにする。</p>	<p>○ 主述、誤字、表記等の間違いが多い子どもの日記を、再度聞き取りをして正しい文に書き直し、視写させる活動を繰り返すことで分かりやすい文が書けるようになった。</p> 

今後の取組

- ミニ話し合いの活動を増やし、友だちの考えを聞き、みんなで決定して実践する楽しさを味わわせ、学級の一体感を高めたい。
- 語彙を増やし、場に応じた言葉で自分の考えを伝えられるようにしたい。

